



学校教育目標

自ら学ぶ子

10月号 令和2年9月30日

あたら せいかつようしき かんが
新しい生活様式を考える ～With コロナの今～

ふくこうちよう ながしま まゆみ
副校長 長島 真弓

いよいよ神無月になります。紅葉の季節が近づいてきました。高い空が旅心を誘います。子どもたちは、例年のようにカメリンピックの練習に励んでいるところです。毎年、カメリンピックは、発表の場としてばかりでなく、練習や準備を通しての成長の場と考え取り組んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、密閉されない空間で、密閉・密接を避けて準備・計画を進めています。練習をどのように行うのか、どうすれば各々が自分の力を出し切れるのか、仲間の頑張りを認め合うにはどうしたらよいかを思案して、練習方法や当日のプログラムから再構成をして開催いたします。

- ・応援団はマウスシールドを使用する。
- ・観覧・演技者の人数制限する。
- ・団体競技は、密接を伴うので行わない。
- ・団体演技では、練習中から十分に人との間隔を空ける。

こうした行事の実施のヒントは、感染防止と経済活動の両立、それぞれを充足させる「With コロナ」の考え方です。例年通りの内容や形式で行えない行事が多いのですが、以前からのやり方を断念し、諦めるのではなく、再構成して充足を探ることにしています。

9月に5年生は、「心のふれあいコンサート」に出かけ、6年生は、昨日、修学旅行から帰ってきました。日程を変更したり、一部の内容を変更縮小したりして実施しました。今後は、4・5年生の日帰りの体験学習、3年生の遠足などの学年行事を計画しています。どの活動も、学習のめあてに沿って新たに計画をしたものです。

終息の見通しがもてない状況下ですので「With コロナ」で、文部科学省からの最新のガイドラインをもとに『浦島小学校の新しい生活様式』を改善・更新しながら、今後も教育活動を模索し実現していきます。どうぞご理解とご支援のほどよろしくお願い致します。

